本県の体力向上に関する取組

［令和７年度］

〇武道推進モデル校の取組

〇子供の体力向上推進校の取組

〇しずおかダンス動画の活用

〇取組紹介表彰優秀賞の紹介

１　武道推進モデル校の取組

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

剣道・なぎなた	熱海市立泉中学校（静岡県） 電話番号　0465-63-2811 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　izumi-jh@i-younet.ne.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣により、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、なぎなたについて、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第１，２，３学年（３学級１６名）

<table>
<tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th></tr>
<tr><td>種目</td><td colspan="5">剣道</td><td>なぎなた</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学習の流れ</td><td>竹刀の扱いと礼法</td><td colspan="3">二人一組で基本動作（一本打ち、連続技、払い技）</td><td>試合</td><td>礼法</td></tr>
<tr><td>立ち会い動作</td><td>防具の着装の学習</td><td colspan="3">踏み込み足の練習</td><td rowspan="2">体捌き</td></tr>
<tr><td colspan="3">体捌き</td><td>生徒同士で稽古</td><td>総復習</td><td rowspan="2">打ち合い</td></tr>
<tr><td colspan="5">振り返り・片づけ</td></tr>
</table>

●指導の工夫

○剣道の実技指導協力者が保健体育の授業における実技指導を補完することにより、授業の充実を図った。

○単元の最後に実技指導者の活用におけるなぎなたの体験授業を実施した。実際に体験する１時間の授業として機会を設け、礼法、体捌き、打ち合いを実施した。

○実技指導協力者の活用について、剣道では、礼法、竹刀の扱い、剣道具の着装、立ち会い動作を、なぎなたでは、礼法、体捌き、打ち合いの内容とした。

○事前準備や分かりやすい説明をお願いし、生徒が動く時間を多くとることで生徒一人一人の学習意欲の向上につながるよう心がけた。

○なぎなたでは、指導者３人が役割分担し、一人が説明している時、他の二人はサポートに回るなど、丁寧な見届けができるよう工夫した。

●授業の様子

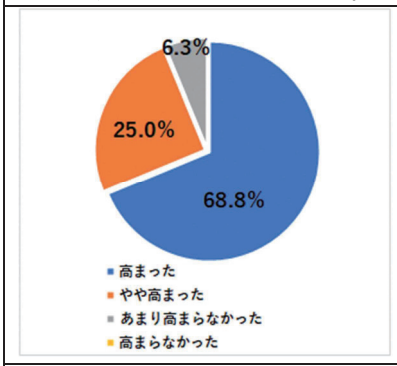
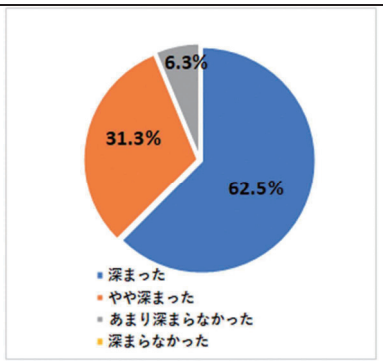
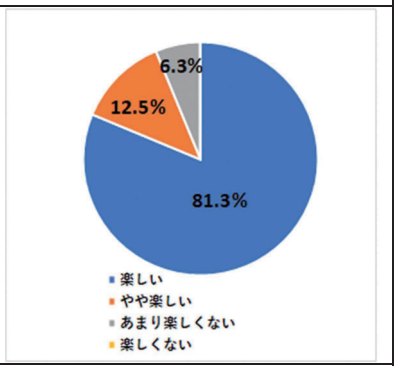


【基本打ち】
防具を着けて打つ練習を行った



【八相の構え】
説明を受けながら構え方を学んだ

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※２種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・武道を経験することで、日本の歴史を学ぶことができた。
・基本４が一番楽しかったので、もっとやりたかった。
・なぎなたは、剣道と違って間合が長くて新鮮な気持ちだった。
・なぎなたは片膝を立てて持ち上げることを学んだ。

●成果

○礼法指導を継続して行っていただいたことで、生徒の挨拶に対する意識が高まり、授業を重ねるごとに声の大きさや態度に変化が見られた。
○なぎなたと剣道の違いや、なぎなたの基本的な動作についても丁寧に説明していただいたことで、生徒は理解を深め、楽しそうに活動する姿が多く見られた。

●課題

○専門的な技術指導が多かったため、ゲーム的な要素も取り入れていただけると、子どもたちがより楽しく参加できるのではないかと感じた。

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

剣道・合気道	熱海市立初島中学校（静岡県） 電話番号　0557-67-1418 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　h-wakame@i-younet.ne.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣事業を活用し、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、合気道について、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第１，３学年（２学級４名）

	1	2	3	4	5	6	7	8
種目	剣道						合気道	
学習の流れ	礼法・刃筋・間合い・中段の構え・素振り・立ち合い	踏み込み足の練習・打ち込み台　面・小手・胴	前回の復習・左右面の練習・打突	一年　基本①の練習（面着装～基本⑥～⑨の練習（面装着） 三年		一年　基本①の習得 三年　基本①～⑨の習得	合気道とは	
							基本動作の学習	
							受け身の学習	
							対人的技能の学習	

●指導の工夫

○保健体育の授業における実技指導を補完することにより、授業の充実を図った。

○単元の最後に実技指導者の活用における合気道の体験授業を実施した。実際に体験する授業として機会を設け、基本動作、受け身、対人技能の内容を実施した。

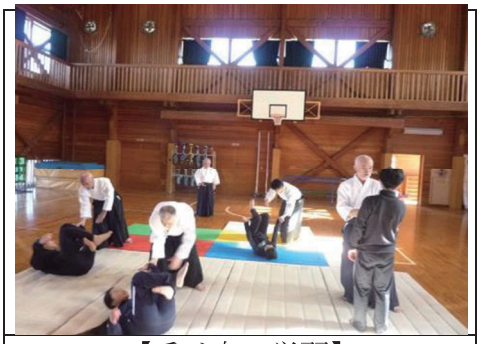
○実技指導協力者の活用については、剣道では、剣術と剣道、礼法、刃筋とは、模擬刀で感じる、間合い、遠い間、近い間、一足一刀、中段の構えと足捌き、素振り、立ち合いの動作、基本技の内容を実施した。合気道では、講義、礼法・作法、基本動作、受け身、対人技能の内容とした。

○剣道における技術、心構え、姿勢などで、本人への価値付けに関する声掛けを指導者が行った。合気道では、大勢の実技指導者に来ていただき、一人一人丁寧に動きを見ていただくことで、効果的な指導となった。

●授業の様子

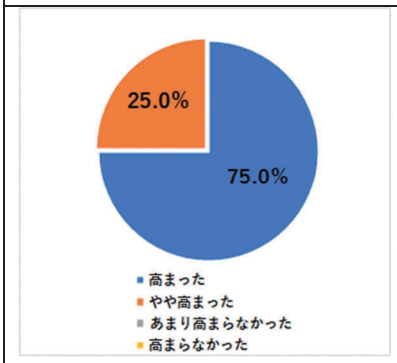
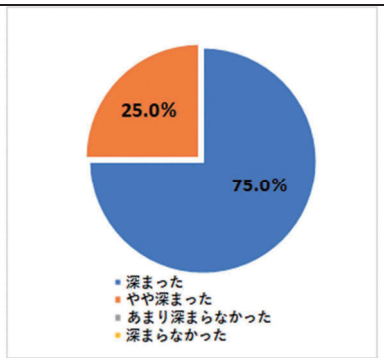
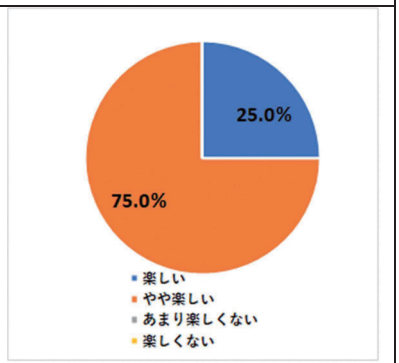


【打ち込み台】
防具を着けて打ち込みを行った



【受け身の学習】
倒れた際の体の使い方を実践した

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※２種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・剣道も合気道も、相手への礼儀を大切にしているところが好き。
・楽しくできた。かっこいいと思った。
・思っていた以上に楽しくできた。家族にも教えてあげたい。
・剣道をやりながら礼儀作法も学ぶことができた。体験することができてよかった。

●成果

〇剣道では、生徒とコミュニケーションをとりながら、温かい雰囲気で行えたことが良かった。技術面だけでなく、心の持ち方、礼儀、武士道と剣道の歴史など武道を通して様々なことをていねいに優しく指導していただいた。
〇合気道では、５人の先生に来たいただき1対1での指導で、日本の文化や礼儀のこと、体さばきや呼吸を中心とした合理的な動きなどを丁寧に進めていただいた。

●課題

〇当日の風の影響で船が欠航の可能性がある場合の講師の先生との連絡など、対応のしかたを事前に確認しておく必要がある。

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

弓道	静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡県） 電話番号　054-283-6441 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　shizuoka-sd@edu.pref.shizuoka.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣により、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、弓道について、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第１，３学年（２学級７名）

<table>
<tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th></tr>
<tr><td>種目</td><td colspan="8">弓道</td></tr>
<tr><td rowspan="6">学習の流れ</td><td rowspan="6">オリエンテーション（弓道）</td><td rowspan="6">弓道の歴史・特性の学習</td><td colspan="6">導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）</td></tr>
<tr><td colspan="6">準備運動</td></tr>
<tr><td colspan="4">基本体の学習</td><td rowspan="2" colspan="2">射法八節の学習</td></tr>
<tr><td colspan="4">射法八節の学習</td></tr>
<tr><td colspan="6">片付け</td></tr>
<tr><td colspan="6">まとめ（ワークシート記入、あいさつ）</td></tr>
</table>

●指導の工夫

○弓道の実技指導協力者が保健体育の授業における実技指導を補完することにより、授業の充実を図った。

○実技指導協力者の活用については、弓道の基本動作・礼儀作法・安全に関する事項の確認や射法八節（紐弓、ゴム弓、素引きを含む）の内容を実施した。

○生徒が安心して活動することができるよう、生徒への言葉掛けの位置や声の大きさなどを意識していただくことを、授業前の打合せの際に、実技指導協力者にお願いした。

○習熟度により、グループを２つに分けて練習を行うことで、生徒一人一人の状況に応じた指導ができるよう工夫した。

●授業の様子

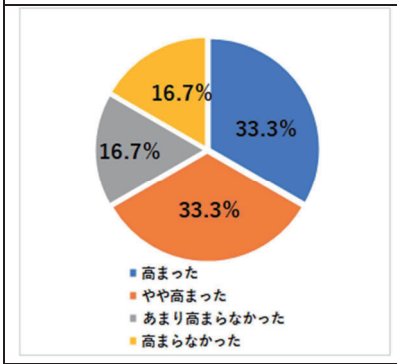
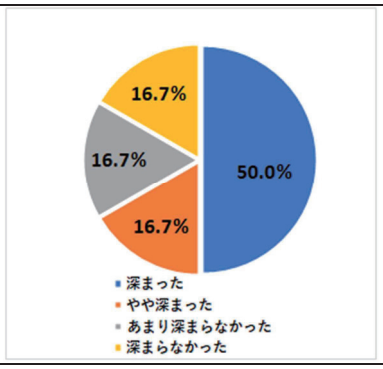
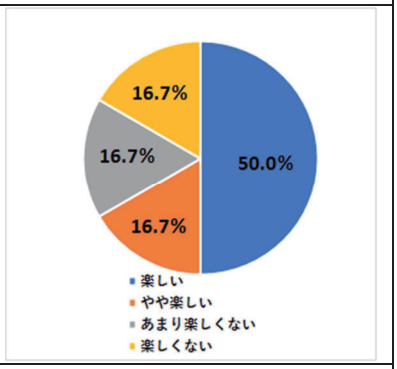


【基本動作（歩き方）】
ゆっくりと動きを意識して取組んだ



【的前練習】
射法八節の一つ一つの流れを確認しながら矢を射る活動を行った

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※２種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・今回の弓道の授業で、弓道に対する礼儀を学び、「ここで学んだ礼儀は弓道だけではなく、他の授業、そしてこれからにも活かせるな」と考えた。
・実際に矢を射つとき、何か考え事をすると的に当てることに集中できなくなると感じた。
・武道には一個一個の動作にも名前があったり、意味が込められていたりすることがわかった。

●成果

○生徒なりの弓を引く怖さを感じ、必要な緊張感をもって取り組むことができた。
○実技や礼儀作法、道具の扱い方などを覚え、生徒同士で安全確認をし合ったり道具を丁寧に扱ったりする姿が見られた。
○実技や礼儀作法、道具の扱い方等、身に付くまで時間を要する所作が多かったが、難しいことや苦手なことにも挑戦しようとする姿が見られた。
○自分自身と対話しながら、心を落ち着けて弓を射る時間は、生徒にとってかけがえのない時間となった。

●課題

○実践経験のある教員が少ないため、知識が乏しく、指導の流れや具体的な指導方法等について具体的なイメージを持つことが難しかったので、協力者とのティームティーチングの体制の工夫。

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

柔道・銃剣道	伊豆の国市立大仁中学校（静岡県） 電話番号　0558-76-1035 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　ohito-chu@izunokuni.ed.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣により、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、銃剣道について、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第１学年（３学級７９名）

<table>
<tr><th></th><th>1</th><th colspan="2">2</th><th colspan="2">3</th><th colspan="2">4</th><th colspan="2">5</th><th colspan="2">6</th><th colspan="2">7</th><th colspan="2">8</th><th colspan="2">9</th><th colspan="2">10</th><th colspan="2">11</th><th colspan="2">12</th></tr>
<tr><td>種目</td><td></td><td colspan="4">銃剣道</td><td colspan="12">柔道</td></tr>
<tr><td rowspan="6">学習の流れ</td><td rowspan="6">オリエンテーション（銃剣道・柔道）</td><td colspan="16">導入（あいさつ、健康観察、本時の授業の見通し）</td><td rowspan="6">学習のまとめ</td></tr>
<tr><td colspan="4">準備運動</td><td colspan="12" rowspan="2">準備運動、基本動作と受け身の確認</td></tr>
<tr><td colspan="4" rowspan="2">基本動作の学習</td></tr>
<tr><td colspan="4" rowspan="2">対人技能の学習</td><td colspan="4" rowspan="2">基本動作の学習</td><td colspan="4" rowspan="3">固め技の学習</td><td colspan="4" rowspan="3">投げ技の学習</td></tr>
<tr><td colspan="4">受け身の学習</td></tr>
<tr><td colspan="4">学習のまとめ</td></tr>
</table>

●指導の工夫

○単元の初めに実技指導者の活用における銃剣道の体験授業を実施した。実際に体験する授業として機会を設け、基本動作から、護身術につながる内容を実施した。

○実技指導協力者の活用については、礼法・作法、銃剣の持ち方、足の動かし方、銃剣の突き方、演舞披露の内容とした。

○オリエンテーションでは、柔道を中心に武道の成り立ちや大切にしている考え方について指導した。それを踏まえて銃剣道の体験をすることで武道に共通する礼法や銃剣道特有の動き、考え方などに触れる機会となるようにした。

○銃剣道では、全ての生徒が初めて体験する種目だったので、実技指導者と相談し、新聞紙を使って突きで点を捉えることを感覚的に体験してから、実際に対人技能へ入ることで、良いイメージをもって技に取組み、段階的に技能習得ができるよう工夫を行った。

●授業の様子

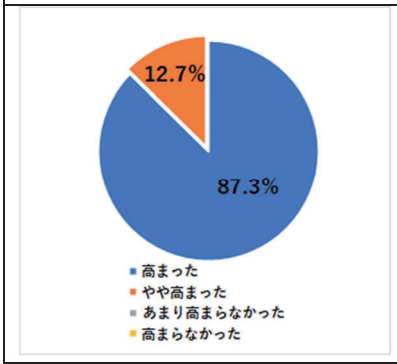
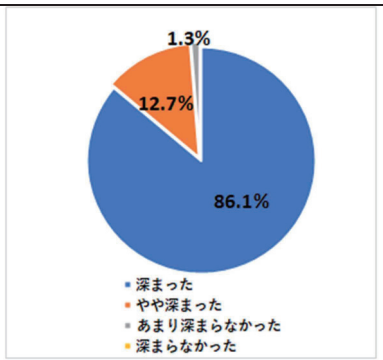
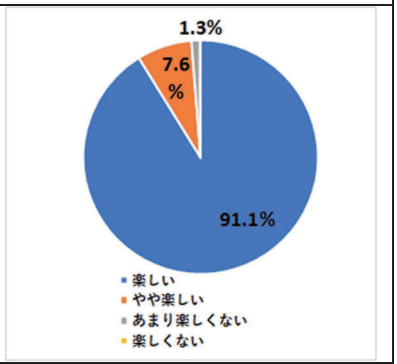


【構え方】
銃剣の持ち方や足の動かし方の練習



【対人の練習】
相手の胸に向かって突きを行う

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※２種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・最初は簡単だと思ったけど、やってみると手と足が同時に動いてしまい、難しさを感じた。
・本気の試合稽古も、2人とも本気で戦っていることがわかった。2人とも足で「ドン」ってならしていて、迫力がすごいなと感じた。

●成果

○武道（９種類）への関心が高まった。
○普段目にしない銃剣道という種目や成り立ちをしることができた。
○見ること教えてもらうことと実際にやってみることの違いや難しさを感じることができた。

●課題

○１時間という限られた体験時間の中で高まった興味・関心を、その後の柔道等の授業や日常生活における武道精神（礼法や伝統への理解）の定着にどう繋げていくかが今後の課題である 。

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

柔道・相撲・空手道	湖西市立新居中学校（静岡県） 電話番号　053-594-0004 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　araijh@city.kosai-szo.ed.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣により、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、相撲と空手道について、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第２学年（４学級111名）

<table>
<tr><th></th><th>1</th><th colspan="2">2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th></tr>
<tr><td>種目</td><td rowspan="5">オリエンテーション（柔道）</td><td colspan="3">柔道</td><td>相撲</td><td>空手</td><td colspan="6">柔道</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学習の流れ</td><td colspan="11">導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）</td></tr>
<tr><td colspan="2">基本動作の学習</td><td rowspan="2">基本動作の学習</td><td rowspan="2">基本動作の学習</td><td colspan="3">準備運動、基本動作と受け身の練習</td><td rowspan="3">学習のまとめ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">受け身の学習</td><td rowspan="2">固め技の学習</td><td colspan="2" rowspan="2">投げ技の学習</td></tr>
<tr><td>対人学習</td><td>対人学習</td></tr>
</table>

●指導の工夫

○単元の途中に実技指導者の活用における相撲と空手道の体験授業を実施した。実際に体験する１時間の授業として機会を設け、歴史、礼法、基本動作、対人学習を実施した。

○実技指導協力者の活用について、相撲では、歴史、基本の姿勢、四股、すり足、押し相撲、空手道では、歴史、礼法、基本の突き・蹴り・受け、模範演武の内容とした。

○空手の授業では、基本動作や形を中心に、安全面に十分配慮しながら指導を行った。

○相撲の授業では、生徒が楽しく授業に取組めるように声を出しながら行い、円滑に進行できるよう心がけた。

●授業の様子

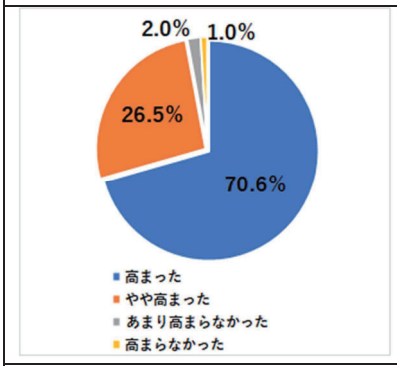
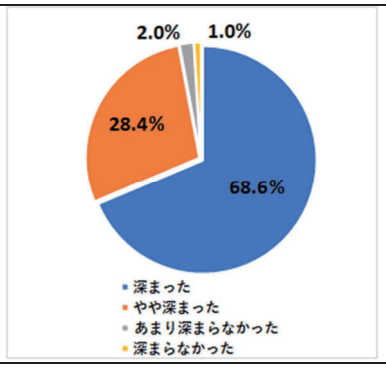
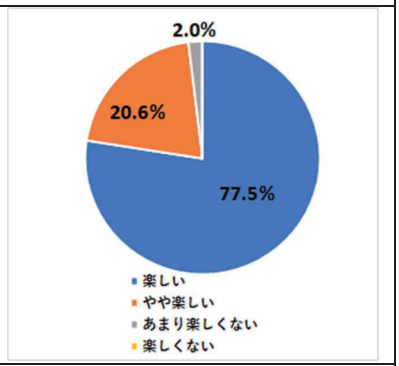


【簡単なぶつかり稽古】
実際に当たりにいく練習



【護身術について】
模範を示しながらの説明

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※２種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・塩をまく意味や礼儀、儀式など、相撲ならではの文化や武道の心を学ぶことができ、相撲への理解が深まった。
・腕をつかまれたときの対処法や護身術を教えてもらい、日常生活でも役に立ちそうだと思った。空手は戦うだけのものだと思っていたが、礼から始まり礼で終わる武道であり、歴史が長くて奥が深いことも分かった。

●成果

○相撲の授業では、礼に始まり礼に終わるという武道の基本を教わることができた。また、体の使い方や重心の取り方を意識することで、運動が苦手な生徒も積極的に参加できるようになった点が成果として感じられた。
○繰り返し練習する中で「できた」という達成感を味わい、自信を持って動けるようになった生徒が多く見られた。仲間同士で動きを確認し合う姿も見られ、協力しながら学ぶ姿勢が育まれた点が大きな成果だと感じる。

●課題

○基本動作や安全に関する指導を中心に行う形となり、技術面の習熟度や個々の理解度を十分に把握・評価することが難しいと感じた。生徒の取組意欲や態度の変化は見られたものの、技能の定着や成長を評価に反映させることには課題が残った。

多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化
武道推進モデル校 研究報告

剣道・少林寺拳法	湖西市立白須賀中学校（静岡県） 電話番号　053-579-0016 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　shirajh@city.kosai-szo.ed.jp

●実践研究のねらい

○実技指導協力者の派遣により、専門的な技術指導や段階的な指導を経験することにより、日本固有の伝統・文化への興味・関心を高める。

○特色ある武道指導の実践を進める趣旨から、少林寺拳法について、実際に体験する授業として機会を設け、武道指導の充実を図る。

●多様な武道の指導モデル　第１，２学年（２学級４６名）

<table>
<tr><th></th><th>1</th><th colspan="2">2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th></tr>
<tr><td>種目</td><td colspan="7">剣道</td><td>少林寺拳法</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学習の流れ</td><td rowspan="4">オリエンテーション（剣道）</td><td colspan="6">準備運動（本時の目標）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">基本打突（面、小手、胴）</td><td>基本諸法</td></tr>
<tr><td>面付け</td><td colspan="2">約束練習</td><td colspan="2">判定試合</td><td>相対技</td></tr>
<tr><td colspan="6">片付け、振り返り</td><td>あいさつ</td></tr>
</table>

●指導の工夫

○単元の最後に実技指導者の活用における少林寺拳法の体験授業を実施した。実際に体験する１時間の授業として機会を設け、歴史、礼法、基本となる構え・受け・突き・蹴り・反撃、演武の師範を実施した。

○実技指導協力者の活用については、礼儀作法、合気道の特徴、受け身、小手返し、受、取の動きの練習の内容とした。

○３名の実技指導者に指導していただき、中心として説明する、生徒の様子を見て回りアドバイスを行う、説明に合わせて動きを示すなど、役割分担することで、伝わりやすくなるよう工夫して指導に当たった。

●授業の様子

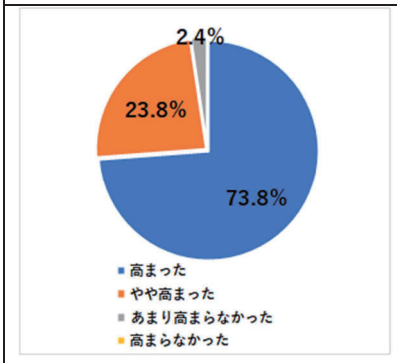
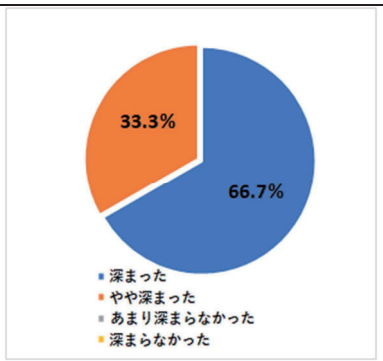
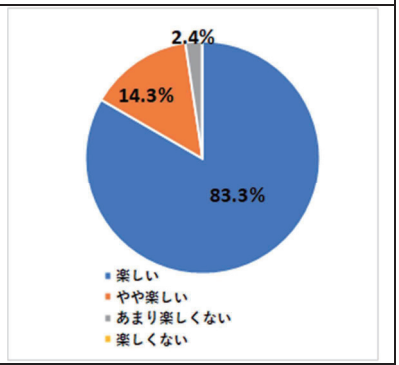


【ミットへの蹴り】
足の動きや当てる場所を確認した



【小手返しの練習】
行い方を教わりながら取組んだ

●生徒の取組み方や意識の変容、感想など

1．多様な武道（※2種目以上または、柔道、剣道、相撲以外の武道）を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。	2．多様な武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。	3．多様な武道を学習する授業は楽しいですか。
		

・突きや蹴りなど普段できない体験をすることができたことが面白かった。
・他の武道（空手など）にも興味が出てきた。
・手首を掴まれた時に抜け出す方法を教えてもらい、上手くできた時にはうれしかった。
・技術を楽しく教えてもらい、もっとやってみたいと思った。

●成果

○少林寺拳法の突きや蹴りが「暴力」ではなく、相手との約束の中で行われていることや2人組で練習することによって相手と一緒に成長することなど、教育的な面も含めて指導していただいた。また、3人の協力者が指導してくれたことにより、丁寧で細かい指導を行って頂くことができた。授業の終わりに協力者2名で模範演技をして頂いたことで、少林寺拳法の迫力やおもしろさが生徒に伝わった。

●課題

○今回は体験授業だったので、評価をすることはなかったが、単元を通じた指導をしてもらう場合は、事前に評価すべき観点や場面を協力者と打ち合わせておくことが必要になる。

2　子供の体力向上推進校の取組

（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	磐田市立豊岡北小学校
実施日	令和　７　年　５月　21 日　（　水　）
実施集団	６年　１組　（　22 人）、　６年　２組　（　22 人） 【　合計：　44 人　】
活動内容	短距離走の指導

＜　先生の感想　＞

図やイラストが用意されていて、とても分かりやすい指導だった。簡単な遊びのような練習からステップを踏み、だんだんと正しいフォームが学べるようになっていた。自分の授業にもぜひ取り入れていきたいと思った。

＜　子供の感想　＞

分かりやすく、簡単に教えてもらってレベルアップを実感しました。ピッチ、ストライドに気を付けて走ろうと思いました。(６年　西野颯斗)

たくさんほめてもらえたので、楽しくコツを身に付けられました。これから活かしていきたいです。ありがとうございました。(６年　山下楓)




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	河津町立河津小学校
実施日	令和　７年　５月　２７日　（火）
実施集団	６年　２組　（２１人）　９：２０～１０：０５ ６年　１組　（２２人）　１０：２０～１１：０５ 【　合計：　４３　人　】
活動内容	短距離走の基本的な走り方の指導 ・腕の振り方、ピッチ数を上げる、ストライドを伸ばす等のドリル練習 ・走りにつなげる走練習

＜　先生の感想　＞

・明るく元気な雰囲気で指導をしてくださり、子供たちが楽しく活動できた。

・３つのポイント（腕振り・ピッチ・ストライド）を、手本を提示しながら分かりやすく指導してくださった。子供の動きがよくなり、その動きの変化を実感していた。

＜　子供の感想　＞

・お手本を見て、工夫してみたりして楽しく学ぶことができた。（６年　鈴木こころ）

・足を前に出すようにしたら少し速く走れるようになった気がしたし、鼻の高さからお尻の方へ腕を速く振ることの大切さも分かった。（６年　鈴木千咲乃）




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	袋井市立浅羽東小学校
実施日	令和　７　年　　５月　　２９日　（木）
実施集団	６年　１組　（２７人）、　６年　２組　（２７人） 【　合計：５４人　】
活動内容	・準備運動、今日の目標の説明 ・ハードル走のための動きづくり ・ハードル走

＜　先生の感想　＞

・ハードル走に向けた様々な動きづくりが参考になりました。

・子供たちのやる気を引き出すような声掛けがたくさんあり、張り切って活動に取り組んでいました。

＜　子供の感想　＞

・いろんなステップをしたり、小さなハードルを跳んだりするのが楽しかった。

・〇〇君はハードルを跳んだ後のスピードが落ちなくて上手だった。

・みんなの前で見本を見せたのが少し恥ずかしかったけど、褒められてうれしかった。




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	吉田町立住吉小学校
実施日	令和　７　年　５　月　３０　日　（　金　）
実施集団	５年　１組　（　３１　人）、　５年　２組　（　３０　人） 【　合計：　６１　人　】
活動内容	・体ほぐし運動 ・ボールの投げ方の３つのポイント　タオルを使った練習 ・キャッチボール　的当て　ステップを使った投げ方練習

＜　先生の感想　＞

ポイントを押さえて分かりやすく指導してくださり、子供たちの飛距離が目に見えて変わっていくのが分かりました。出来るようになることで、子供たちも意欲的に活動できていました。

＜　子供の感想　＞

・コツが分かったので、体力テストで生かしたい。（５年　松浦雄護　）

・３つのポイント（ひじ・体重移動・スナップ）を意識してやったら前よりも遠くに投げることができて嬉しかった。（５年　ナガタマリア　）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	掛川市立横須賀小学校
実施日	令和　７年　　６月　２日　（火）
実施集団	５年　　１組　（　２０人）、　　５年　　２組　（　２２人） 【　合計：　　４２　人　】
活動内容	ソフトボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

ソフトボール投げを苦手に感じている児童も多くいましたが、丁寧に投げ方を教えていただいたことで、どの児童も意欲的に自信をもって取り組む姿が見られました。練習を通して、遠くに投げられるようになり児童たちも喜んでいました。また、ボール投げが得意な児童も投力をさらに伸ばすことができていました。児童の様子に応じてグループを分けていただいたり、練習方法を変えていただいたりしたことで、どの児童にとっても大きく学べた時間となりました。ありがとうございました。

＜　子供の感想　＞

ソフトボール投げには、僕が知らないポイントがあって詳しく教えてくださり分かりやすかったです。ポイントには、「ステップ」「体重移動」「ひじ」の３つがあって、僕は、「スナップ」と「ひじ」の２つは知りませんでした。その２つのポイントを意識することで、去年より遠くにとばすことができました。（５年　曽我　桜凜）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	焼津市立大井川東小学校
実施日	令和　７　年　６　月　４　日　（　水　）
実施集団	３　年　１　組　（２０人）、　３　年　２　組　（２１人） 【　合計：　４１　人　】
活動内容	遠くにボールを投げる方法　、　ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

タオルを使って、ボール投げの基本のフォームを教えてもらい、動きのコツをそれぞれが理解できていた。その後の１号球を使っての練習でも、合言葉をもとに遠くへ投げようと意欲的に練習をしていた。

＜　子供の感想　＞

ボールを肘、体重移動、スナップで投げるのが分かった。ボールの持ち方も分かった。体力テストのソフトボール投げ頑張ります。（３年　池谷茜子）

体重移動とスナップで勢いよく飛んで、野球の練習になった。（３年　福山壱希）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	焼津市立焼津東小学校
実施日	令和　７　年　　６月　　５日　（　木曜日　）
実施集団	５年　　１組　（１８人）、　　５年　　２組　（１９人） 【　合計：　　３７　人　】
活動内容	遠くにボールを投げる方法、ボールの投げ方指導、測定

＜　先生の感想　＞

子供たちは、講師の先生から教わった「ひじを肩より高く上げる」「体重移動をする」「スナップをかける」という３つのキーワードを合言葉に、真剣に取り組んでいました。とてもシンプルで分かりやすかったので、すぐに実践し、手ごたえを感じている様子でした。実際に測定してみると、昨年は１０ｍも飛ばなかったという子供たちが記録を１５ｍほどまでに伸ばしたり、もともと投げられる子供も、より記録を伸ばすことができたりと、１時間の成果を実感することができました。

＜　子供の感想　＞

私は、ボール投げは得意だけど、教えてもらって４年生の時より遠くにボールを投げることができるようになりました。３つのコツを意識しながら斜め上に向かって投げると遠くまで行きました。この３つのコツを次の学年や中学などになっても意識して取り組んでいきたいです。　（５年　大石結万）

ボール投げはもともと苦手でした。けれど、今日この授業を通してスナップなどは少しは意識できたし、斜め上を見て投げてみたら前よりも少し飛ぶようになりました。

（５年　武村浩士朗）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	御前崎市立浜岡東小学校
実施日	令和　７　年　　６　月　　６　日　（　金　）
実施集団	４年　　１組　（　２４　人） ４年　　２組　（　２５　人） 【　合計：　４９　　人　】
活動内容	タオルを使った準備運動、ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

・ボールを投げることに自信がない子がコツをつかんで、遠くに投げられるようになったようです。秋のスポーツテストに向けてやってみたいという声も多かったです。

・体育の授業などでもこのポイントを意識させ、取り組んでいこうと思います。

＜　子供の感想　＞

・教えてもらった「ひじ」「体重移動」「スナップ」を活かしてみたら、上にボールが飛んでびっくりしました。これからも、この３つのコツを使ってボールを投げたいです。

（４年　服部真衣）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	沼津市立開北小学校
実施日	令和　７　年　　６月　　９日　（　月　）
実施集団	４年　　月組　（　２８人）、 ４年　　雪組　（　２７人）、 【　合計：　５５人　】
活動内容	速く走るコツを教えてもらい、走るトレーニングをしました。

＜　先生の感想　＞

・走るのが不得意な子たちも、速く走るためのトレーニングを一生懸命取り組み、速くなったことを実感していた。

・担当の先生が元気で明るく、楽しそうにやっている姿が良かった。

＜　子供の感想　＞

・自分でまだ知らなかったコツや言葉を自分の走りに付け加えたいと思いました。（４年　能戸彩葉）

・速く走れるコツが分かったので、これからも走るときがあったら今日教わった走り方で走りたいです。そして、もっと練習して速く走りたいです。（４年　畠山花）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	焼津市立大井川南小学校
実施日	令和　７　年　６　月　１３　日　（　金　）
実施集団	４　年　１　組（２２人）、　４　年　２　組（２１人） ひまわり　２組【特別支援学級】（１人）　　【合計：４４人】
活動内容	遠くにボールを投げる方法

＜　先生の感想　＞

ボールを投げる３つのポイントをパネルで提示したり演示を交えたりして明確に指導してくださり、子供たちにもわかりやすかった。また、技能別に２つのグループに分かれ、それぞれの技能に合わせた練習方法を取り入れてくださり、子供の技能も伸びた。最後に、一人ひとりボール投げの記録を測定する場面を設定したことにより、子供も自分の記録の伸びを確認することができ、満足感を味わうことができた。

＜　子供の感想　＞

・体重移動に意識したら、記録が伸びてうれしかった。　（４年　鈴木　琉希）

・ボールの持ち方とかポイントを教えてもらったから、もっと遠くに飛ばすことができてよかった。（４年　大長　蓮季）

・記録は伸びなかったけど、投げ方がわかったので、次に活かしたい。楽しかった。（４年　多々良　咲那）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	磐田市立磐田西小学校
実施日	令和　７　年　６　月　26 日　（　木　）
実施集団	５年　１組　（　２３人）、　　５年　２組　（　２３人） ５年　３組　（　２３人）、 【　合計：　６９人　】
活動内容	投能力の向上（ボール投げ）

＜　先生の感想　＞

・温かい声掛けのもと、「ひじ」「体重移動」「スナップ」＋「ステップ」を意識して練習に取り組んだことで、多くの子が「前よりも投げ方がよくなった。」、「こつが分かった。」と深い学びが感じられました。ありがとうございました。

＜　子供の感想　＞

・体力テストのときは、あまり飛ばなかったけど、体重移動やステップなどのコツを教えてもらって遠くまで飛ぶようになった。（５年　松島穂乃花）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	掛川市立大渕小学校
実施日	令和　７　年　９　月　18　日　（　木　）
実施集団	５年　　１組　（　21 人）、　６年　　１組　（　23 人） 【　合計：44 人　】
活動内容	・タオルを使った投球フォームの確認 ・投球フォームを確認しながらのボールを使った的当て ・投球フォームを確認しながらの遠投キャッチボール

＜　先生の感想　＞

・３ つのポイントに絞って説明をしてくださったことで、意識すべき点を理解した上で練習をすることができ、確実なレベルアップに繋がった。

・練習以外の行動もテキパキ行う指示を出してくださり、充実した１時間となった。

＜　子供の感想　＞

・コツを教えてもらい、そこを意識することで良いボールが投げられるようになって嬉しかった。

・今まで意識していなかったポイントを教えてもらい、勉強になった。

・３つのコツを意識して、今後も練習に励みたいと思った。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	掛川市立千浜小学校
実施日	令和　７　年　９　月　19　日　（　金　）
実施集団	６　年　１　組　（　26　人）、　５　年　１　組　（　27　人） 年　　組　（　　人）、　　年　　組　（　　人） 【　合計：　53　人　】
活動内容	個人のレベルに合わせたボール投げ指導

＜　先生の感想　＞

「ひじ、体重移動、スナップ」のポイントを子どもたちに何度も伝えながら、丁寧に指導してくださりありがとうございました。さまざまな練習方法や練習場所を用意してくださったおかげで、多くの児童が「記録が伸びた。」と練習の成果を実感していました。

＜　子供の感想　＞

昨年度も体重移動やスナップ、ひじの大切さを教えてもらいましたが、そのときはうまくできませんでした。しかし、今年度も同様に指導してもらったおかげで３つのポイントの意味がよく分かってきて、上手に投げることができました。腕の上げ方について個別に指導してもらったとき、とても分かりやすかったです。今回教えてもらったことを今後の体育の授業で生かしていきたいです。　（６年　市川　鈴奈）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立黒田小学校
実施日	令和　７　年　９　月　24　日　（　水　）
実施集団	４　年　１　組　（　30　人）、　　年　　組　（　　人） ４　年　２　組　（　29　人）、　　年　　組　（　　人） 【　合計：　59　人　】
活動内容	遠くにボールを投げる方法、ボールの投げ方指導 （スナップを意識したキャッチボール、体重移動を意識したワンバウンドキャッチボール、コツを意識したフラフープへのタオル・ボール投げ）

＜　先生の感想　＞

「ひじ」「体重移動」「スナップ」を、こどもたちに意識づけさせるための練習内容を学ばせていただくことができ、非常に参考となりました。レベル別に、指導内容を考えてくださり、丁寧にご指導いただけたことで、苦手感をもっていたこどもたちも、楽しく活動に取り組むことができ、自信を持つことができました。活動中のキャッチボールの時点で、既に成果が出ているこどもたちもいたため、自分自身も、非常に驚きました。指導者のお二人が、こどもたちのテンションに合わせながら、上手にご指導してくださったことも、ありがたかったです。
この度は、大変参考となるご指導をいただき、ありがとうございました。

＜　子供の感想　＞

・肘から投げることやスナップが大事なことがとてもよくわかってよかったです。それを意識したら遠くまで飛びました。（４年　齋藤　陽）
・とてもボールが飛ぶようになり、ドッジボールやキャッチボールにも自信がつきました。楽しくできたと思います。　（４年　諏訪部　六花）
・教えるのが凄くうまくて、コツをしっかり意識して投げることができました。すごくたのしかったです！　（４年　鍋田　妃咲）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	掛川市立中小学校
実施日	令和　７　年　９月25日　（木）
実施集団	５年１組　（２０人） ６年１組　（１７人）　　【　合計：３７人　】
活動内容	ボールの投げ方指導　　遠くにボールを投げる方法 ・柔らかいボールを使ったスナップを使った投げ方練習。 ・体重移動、ひじの使い方、スナップを意識した投げ方練習。

＜　先生の感想　＞

・バックネットにフラフープをつけ、投げる位置も距離をだんだん遠くしていくことで、体重移動やひじの使い方を意識しやすい環境作りになっていてとてもよかった。
・タオルを使ったボールの投げ方指導は、どのようにボールを持って、どの指に力を入れて投げるのかを学ぶために効果的だった。

＜　子供の感想　＞

・ボールを投げるこつが、今回の学習でつかめて、遠くまで投げることができるようになりました。これからも、「体重移動」、「スナップ」、「ひじ」を意識してボールを投げたいです。（５年　清水サユリ）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	函南町立西小学校
実施日	令和　７　年　　９月　２６日　（金）
実施集団	６年　１組　（　３３人）、　６年　２組　（　３４人） 【　合計：　６７人　】
活動内容	・ボール投げ（スナップ、体重移動、肘の位置の確認など）の技術が向上するための運動。

＜　先生の感想　＞

ベースボール型の単元に入ったところということもあり、子どもたちがボール投げに対する関する関心を高めているタイミングでの実践だった。運動技能、運動経験に限らずどの子も取り組みやすい内容であった。

＜　子供の感想　＞

・ひじ、体重移動、スナップなどの投げる時のこつがわかりやすかった。
・体の使い方がわかったので、前より遠くまで投げることができそうな気がする。もう一度ボール投げの記録を測りたい。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立北山小学校
実施日	令和　７　年　　10月　　7日　（　火　）
実施集団	６年　１組　（　24 人）、　５年　１組　（　22 人） 年　組　（　人）、　年　組　（　人） 【　合計：　46 人　】
活動内容	・遠くにボールを投げる指導 ・投げ方の指導

＜　先生の感想　＞

普段投げ方の指導で迷うことが多かったが、今日の指導でこどもたちに伝わりやすい指導方法を教えていただけたのでとても参考になりました。また、今日の１時間で飛躍的に記録が伸びた子が多く、こども自身が成長を感じることができました。

＜　子供の感想　＞

・今まで意識していないポイントを教わったので、参考になった。
・今日の投げ方教室で記録が伸びる気がする。
・今日教わったタオルの練習を家でもやってみたい。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立山宮小学校
実施日	令和　７　年　　10月　　8日　（　水　）
実施集団	4年　1組　(18人)、　5年　1組　(14人) 6年　1組　(27人) 【　合計：59人　】
活動内容	・ボールの投げ方指導 ・ボールを遠くに投げる方法

＜　先生の感想　＞

ポイントが分かりやすく、こどもたちも意識して練習に取り組むことができていました。秋に行われる、新体力テストの計測が楽しみです。教師としても、投げ方の指導の仕方がとても勉強になりました。お忙しい中、ありがとうございました。

＜　こどもの感想　＞

どうしたら、ボールを遠くに投げることができるのか、分かりました。遠くにボールを投げることができて、嬉しかったです。新体力テストの計測もがんばりたいです。ありがとうございました。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	下田市立朝日小学校
実施日	令和　７　年　１０　月　１０　日　（　金　）
実施集団	５年　１組　（　１６人）、　６年　１組　（　１７人） 年　組　（　人）、　年　組　（　人） 【　合計：　３３　人　】
活動内容	・走り方のポイント ・ポイントをもとに、実技練習

＜　先生の感想　＞

・プロの方に教えていただけるとのことで、とても意欲的に取り組んでいました。
・腕ふり、ピッチ、ストライドの３つのポイントを丁寧に教えていただき、実技を行ったことで、子供たちの走り方が大きく変わっており、驚きました。

＜　子供の感想　＞

・ピッチとストライドを初めて知った。腕ふりをいかさないといけないことも分かって速く走れるようになった。（山中詩月）
・姿勢をよくすると速く走れることが分かった。（佐藤賢一）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	菊川市立小笠東小学校
実施日	令和　７　年　　10月　　１４日　（　火　）
実施集団	５年　１組　（３１人）、　６年　１組　（　３７人） 年　組　（　人）、　年　組　（　人） 【　合計：　６８　人　】
活動内容	ボールの投げ方指導 レベル別に分かれたドリル的練習

＜　先生の感想　＞

・ボールの正しい投げ方について、子供たちはポイントを意識しながら練習に取り組んでいました。
・レベルに応じた場を用意してくれたので、得意な子も苦手な子も楽しみながら活動できたと思います。
・やることがはっきりしていて、子供の動きに無駄がなかったです。
・ポイントがしぼられており、分かりやすかったです。
・６年生は外で活動できなかったのが残念でした。

＜　子供の感想　＞

・投げる時のコツをポイントごと説明してくれたので、わかりやすかったです。
・スナップを意識して投げたら、遠くまでボールが飛んでうれしかったです。
・ボールを遠くまで投げるイメージがわきました。
・３つのポイントが分かりやすかったです。
・タオルを使ってなら、家の中でも練習できると思いました。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	静岡県三島市立東小学校
実施日	令和　７　年　１０月　１６日　（　木　）
実施集団	５年　１組　（　２２人）、　年　組　（　人） ５年　２組　（　２３人）、　年　組　（　人） 【　合計：　４５人　】
活動内容	ハードル走をリズミカルに行うためのポイント指導、基礎練習

＜　先生の感想　＞

大きなボードによる上手な跳び方の説明が子どもたちのイメージ作りにも適切で、子どもたちも前向きに活動することができました。また、二人一組での準備運動も、動作を確認する上で子どもたちに効果的でした。実施後の授業でも事業で学んだことを活用し、技能の習熟に生かしていきたいです。

＜　子供の感想　＞

・足の動かし方が分かりました。・一番高い場所でもやわらかいバーだったので、思い切って行うことができました。・二人一組で行った練習を授業でもやってみたいです。
・たくさんのコースがあったので、自分でどのコースがよいか考えたりやってみたりしながら取り組むことができました。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立白糸小学校
実施日	令和　７　年　１０月　２２日　（水）
実施集団	３年　１組　（　９人）、　年　組　（　人） ５年　１組　（　１８人）、　６年　１組　（　９人） 【　合計：　３６人　】
活動内容	・ボールの投げ方の指導

＜　先生の感想　＞

・「ひじ」「体重移動」「スナップ」の３つのポイントをこどもが意識して投げられた。
・分かりやすく指導してもらい、こどもたちの変化がよく分かった。
・成果がでたことでこどもたちがとても嬉しそうだった。

＜　子供の感想　＞

・「ひじ」「体重移動」「スナップ」を意識したら、前よりも遠くにとばすことができるようになりました。　（３年　福地 花菜さん）
・家や学校の休み時間などにも、タオルやボールを使って、「ひじ」「体重移動」「スナップ」を気をつけながら練習をしていきたいと思いました。（５年　木川 麻菜美さん）
・ひじを肩より上にすることや手首のスナップをかけることが大切だと気付きました。家でも練習して新体力テストでもいい記録を出したいです。（６年　三木 煌絢さん）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立柚野小学校
実施日	令和　７　年　１０月　２３日　（　木　）
実施集団	５年　１組　（１８人）、　６年　１組　（１７人） 【　合計：　３５人　】
活動内容	ハードルの基礎の習得 ・インターバルをリズミカルに跳ぶ練習 ・空中姿勢の指導

＜　先生の感想　＞

ハードルの基礎であるインターバルをリズミカルに跳ぶことをスモールステップで指導してくださり、ハードルが苦手な児童でも取り組めていてとてもよかった。また、今回行った練習方法を今後授業にも取り入れたい。

＜　子供の感想　＞

・インターバルで、0,1,2,3 のリズムでやると、次に跳びやすく、遠くから跳べるということが分かったので、ハードル走のときに活かしたいです。（５年　佐野　凛）
・ハードルを飛ぶときは、遠くから飛んだり、左手を前にだしたりするとうまくハードルが飛べることがわかりました。ハードルはちょっとトラウマがあって、怖くなってしまうけど、自信を持って速く飛べるようにしたいです。（６年　興津　ねね）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	三島市立山田小学校
実施日	令和　７　年　１０月　２８日　（　火　）
実施集団	５年　１組　（　32 人）、　５年　２組　（　33 人） 【　合計：　65 人　】
活動内容	ハードル指導

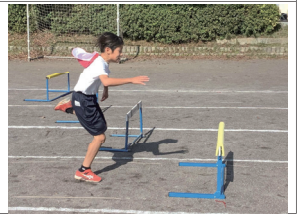
＜　先生の感想　＞

・ハードル走の専門的な指導がありがたかった。
・０，１，２，３のリズムや用語など子供たちにも分かりやすかった。
・ストレッチやミニハードルなどで、リズムを覚えて安心してハードルを跳べていた。

＜　子供の感想　＞

０，１，２，３のリズムが難しかったし、手を前にするのも難しくてできなかったけど、最終的にはハードルの近くに跳べてうれしかった。最初と比べてハードルがうまくなった気がする。タイムも縮んだ気がする。（５年　Ａさん）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	牧之原市立坂部小学校
実施日	令和　７　年　１０月　２９日　（　水　）
実施集団	６年　　１組　（　２１人）、　　５年　１組　（　２０人） 【　合計：　４１　人　】
活動内容	ハードル指導 インターバルをリズミカルに走る

＜　先生の感想　＞

リズムよくハードルを跳ぶ方法を教えていただき、子供たちが、意欲的に「０・１・２・３」のリズムにのってハードルを跳ぶことができてよかった。ハードルの間隔が変えてあったので、自分がリズムよく跳べる間隔を見つけることができた。次時からも今回の指導を生かしリズムよくハードルを越えることを目指し学習を充実させていきたい。

＜　子供の感想　＞

ハードルをやってみて楽しかった。ただ跳べばいいだけだと思っていたけれど、体を前に倒して跳んだり、リズムがあったりすることを初めて知り、もっとうまくハードルを跳べるようになりたいなと思った。　（６年　櫻井比呂）




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立富士根北小学校
実施日	令和　７年　１０月　３０日　（ 木 ）
実施集団	４年　１組　（　２３人）、　　６年　１組　（　２９人） 【　合計：　　５２人　】
活動内容	・「ひじ」「体重移動」「スナップ」の３点を確認・投げる動作の練習 ・２グループに分かれ、Ａグループは、少しずつ距離を伸ばしながら、自分のソフトボール投げの記録更新に挑戦し、Ｂグループは、高い位置に設定された的に向かって、ねらいを定めて投げる練習を行った。

＜　先生の感想　＞

投げる機会がドッジボール等に限られる中で、タオルやソフトボールを使いながら時間いっぱい投動作を繰り返しており、大変貴重な運動経験となった。こどもたちも、飽きずに熱心に取り組んでいたし、投力が伸びていることを実感していた。ポイントを３点に絞ることで、児童も意識を集中させることができていたと思う。他学年の児童にも共有できる場を設けたい。また、次年度も、ぜひお願いしたい。

＜　子供の感想　＞

・投げるこつが分かってうれしかった。スナップはむずかしかった。
・ドッジボールでも、体重移動を意識して投げたら、もっと速い球が投げられるかも知れないから、楽しみ。
・タオルを使った練習を家でもやってみたい。




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士市立天間小学校
実施日	令和　７　年　10　月　31　日　（　金　）
実施集団	５　年　１　組　（　24 人）、 ５　年　２　組　（　25人）、 【　合計：　49　人　】
活動内容	投動作のポイント指導（ひじ・スナップ・体重移動）

＜　先生の感想　＞

丁寧に、分かりやすくご指導いただき、ありがとうございます。子どもをやる気にさせる言葉掛け、練習内容で、とても意欲的に取組んでいました。

＜　子供の感想　＞

・いつも投げているより軽くできました。スナップをもっと意識したいです。
・楽しくできました。分かりやすく教えてくれて、よく分かりました。
・ボール投げの記録が伸びました。秋の体力テストも頑張ります。




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	伊豆の国市立韮山南小学校
実施日	令和　７　年　１１月　５日　（　水　）
実施集団	４年　１組　（２８人）、　４年　２組　（２６人） 【　合計：　５４人　】
活動内容	遠くにボールを投げる方法、ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

ほとんどの子が、ボール投げが上達したことを実感でき、充実した時間になったと思います。「できる＝楽しい」を子供の姿から再確認できました。指導する際には「その運動で核となる動きを抑えること」「スモールステップで教えていくこと」が大切だと感じました。今回の指導を、学校で共有し、実践していきたいと思います。

＜　子供の感想　＞

前よりもボールが飛ぶようになっていてとても嬉しかったです。ボールを遠くに飛ばすための３つのポイントは、とても分かりやすく、覚えることができました。ボール投げのコツを教えてくれて前よりもボール投げを好きになりました。来年の体力テストで良い結果を出したいです。（４年　長澤　花）




（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	島田市立五和小学校
実施日	令和　７　年　　11 月　　6日　（　木　）
実施集団	５年　　１組　（　21 人）、　　５年　　２組　（　21 人） 【　合計：　　42 人　】
活動内容	ハードル走

＜　先生の感想　＞

ハードル走の指導のポイントを知ったり、練習の仕方を学んだりすることができたことがとても有意義な時間になりました。理論と反復練習、フィードバックのバランスの大切さを感じました。

＜　子供の感想　＞

ハードル走のポイントがわかってよかった。練習するのは難しかったし、初めは怖かったけど、練習を重ねていくと楽しくなっていきました。もっと速く走れるようにポイントを覚えておきたいと思います。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	伊東市立大池小学校
実施日	令和　７　年　１１月　　７日　（　金　）
実施集団	５年　　１組　（　２７人）、　　５年　　２組　（　２７人） 【　合計：　　５４　人　】
活動内容	ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

・きびきびとした指導に、子ども達のやる気も向上していた。

・ひじ・体重移動・スナップの３つのポイントよく理解し、繰り返し練習していた。

・より遠くへ飛ばせることを実感し、今後のモチベーションにつなげていた。

＜　子供の感想　＞

・今までボール投げをやってきた中で一番飛んだので、すごくうれしかった。（男子）
・ひじ、体重移動、スナップを意識して、４年生にもしっかり教えられるようにがんばりたいです。（女子）
・シャドウピッチングで、長く飛ばせるようにがんばります。（男子）

（記録写真）



（記録写真）



（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	沼津市立戸田小学校
実施日	令和　７　年　11 月　10 日　（月）
実施集団	３年１組（４人）、４年１組（３人）、４年２組（１人） ５年１組（４人）、６年１組（４人） 【　合計：１６人　】
活動内容	ボール投げの指導

＜　先生の感想　＞

投げるときに意識するポイントを３つ挙げ、それぞれを児童にわかりやすい言葉で丁寧に説明していた点が良かった。また、タオルを使った実技指導では、スナップの動きを意識しやすく、児童の理解につながっていた。さらに、フラフープを的として活用することで、狙いを定めやすく、意欲的に取り組めていた。１時間の流れもスムーズで、児童が自らの上達を実感しやすい構成になっていた点も大変良かった。

＜　子供の感想　＞

新体力テストのボール投げでは、２５ｍに届かなかったけど、今日教えてもらったひじ、体重移動、スナップの３つのポイントを意識して、投げてみたら２５ｍを超えて嬉しかったです。次は３０ｍを目指したいです。（６年 金田 士門）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	御殿場市立東小学校
実施日	令和　７　年　１１　月　１２　日　（　水　）
実施集団	５年　　１組　（　２３人）、　　５年　　２組　（　２６人） ５年　　４組　（　　２人）、　　５年　　６組　（　　３人） 【　合計：　　54 人　】
活動内容	・ハードルの基礎基本　　・アップ（スキップやダッシュ等） ・ミニハードルを使って０・１・２・３の練習 ・インターバルの間隔違いでハードル練習

＜　先生の感想　＞

授業全体を通して、子供たちが活動に対して積極的に取り組むことができるように丁寧な指導と場の用意がされていました。苦手意識を持っている児童への支援だけではなく、得意な児童がもっと上手にやりたいと思えるような工夫を行っていきたいです。

＜　子供の感想　＞

・「０・１・２・３」の練習を通して、ハードルを跳ぶリズムが分かった。

・コースが多くあったので、たくさん練習することができて楽しかった。

・ハードルの練習が、楽しくできた。　・次回の体育の授業も頑張りたい。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	焼津市立和田小学校
実施日	令和　７　年　１１月　１３日　（　木　）
実施集団	６年　　１組　（　２９人）、　６年　　２組　（　２９人） 【　合計：　　５８人　】
活動内容	ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

ボールを投げるためのより良い体の使い方が分からない児童が多い本校児童に対して、図や分かりやすい言葉で説明していただいたことで、フォームが安定していた児童が多くなった。スナップ、体重移動、ひじなどのポイントを押さえた指導は、今後の授業指導のために大変参考になった。

＜　子供の感想　＞

野球少年団でもスナップや体重移動、ひじの使い方に気を付けて投げるように指導されている。今回も同じように指導を受け、一つ一つ確認しながら投げるとフォームも安定して飛距離も伸びたので自信になりました。（６年　増田尚翔）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	菊川市立堀之内小学校
実施日	令和　７　年　１１月　１４日　（　金　）
実施集団	５年　　月組　（　３１人）、　５年　　雪組　（　３５人） 【　合計：　　６６人　】
活動内容	ボール投げ講習

＜　先生の感想　＞

とても分かりやすい指示と充実した活動でとてもよかった。投げることに苦手意識があった児童も笑顔で活動に取り組むことができた。

＜　子供の感想　＞

・私は、ボール投げが苦手で、遠くに飛ばないし、腕は痛くなるし。すごく苦手意識がありました。しかし、今日の授業ですごく楽しくボール投げができて、もっと投げたいなという気持ちになりました。（５年　武藏島七海）

・だんだん投げると「もっと投げられるようになりたいな。」とか「もっと上手に投げたい！」と言う気持ちになって、家などでもキャッチボールなどもして見たいと思いました。（５年　小澤利乃安）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立上井出小学校
実施日	令和　７年　１１月　１７日　（月曜日）
実施集団	３年　１組　（９人）、　４年　１組　（１４人） ５年　１組　（８人）、　６年　１組　（１２人） 【　合計：４３人　】
活動内容	速く走る指導（短距離走）

＜　先生の感想　＞

・短距離走のコツを３つのポイントに絞って、美しく速く走る方法を教えていただきました。教えていただいた練習方法を授業に取り上げ、児童の走力を伸ばしていけるよう支援していきたいと思います。
・児童の意欲を自然に引き出していただき、走ることに苦手意識がある児童も意欲的に取り組むことができました。
・両手をあげて走ることでより体幹を意識すると、ともに腕振りの効果を実感できました。

＜　子供の感想　＞

・うでふりとピッチとストライドの三つのポイントを体験させてもらったり、例えを出してやさしく教えていただいたりして、練習をしたら足が速くなった実感がわきました。でもピッチの回転数を上げるのが少しむずかしかったので、次の５０Ｍ走を速くできるように練習をしたいなと思いました。（５年　佐々木梨帆）
・もも上げがおもしろかったです。速く走りたい気持ちが高まりました。（３年　後藤一吹）
・たんきょり走のしどうをしてくださりありがとうございました。ぼくは、もっとたんきょりを練習していきたいと思いました。楽しかったです。ぼくはうでふりがとても大切なことだと思いました。（４年　遠藤優希人）
・３つのポイント「うでふり」「ピッチ」「ストライド」を意識することで、速く走ることができました。特にはねるように走ることで、速さが全然ちがってくることを感じました。（６年　佐野健心）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	富士宮市立大宮小学校
実施日	令和　７　年　　１１　月　　２１　日　（　金　）
実施集団	４年　１組　（２８人）、　４年　２組　（２８人） 【　合計：　５６　人　】
活動内容	・タオルを使ったウォーミングアップ。 ・投げるときのポイントの確認。 ・レベル別でボール投げの練習。

＜　先生の感想　＞

・ボール投げのポイントを専門家から指導していただき、大変勉強になった。
・運動に苦手意識をもつ子がとても楽しそうに練習をしていてうれしかった。
・今後、他の種目の指導もお願いしたいと思った。

＜　子供の感想　＞

・ボール投げは苦手だったけど、こつを教えてもらったら今までより遠くにボールを投げることができた。
・練習をがんばったから、ボール投げの記録をはかりたい。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	伊豆の国市立大仁北小学校
実施日	令和７年１１月２６日　（水）
実施集団	６年１組（２０人）　６年２組（１９人）　【　合計：３９人　】
活動内容	・短距離走のポイント ①腕振り　②ピッチ　③ストライド　を意識した練習 ・長距離走の呼吸法

＜　先生の感想　＞

３つのポイントを支えるものは姿勢であることを学び、普段の生活でもいえることだと感じた。走力を向上させるための練習方法、意識すべき事柄を具体的に教えていただいたので、子供たちの走り方が変わったと思った。

＜　子供の感想　＞

・姉が陸上部なので、３つのポイントに似たようなことは聞いたことがあったが、実際に意識して走ってみると、難しく感じた。それでも、言われた通りに取り組むと走り方がよくなった気がした。

・今日教わったことは、初めて聞くことだった。分かりやすく教えていただいたので、これからの体育でも意識したい。





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	裾野市立南小学校
実施日	令和　７　年　１２月　　３日　（　水　）
実施集団	４年　　１組　（１８人）、　４年　２組（１６人）欠席２人 ５年　　１組　（２０人）、　５年　２組（１９人）欠席１人 【　合計：　　７６人　】
活動内容	・遠くにボールを投げる方法、ボールの投げ方指導

＜　先生の感想　＞

・ポイントを３つにしぼっていただいたので、子供たちが遠くに投げるポイントを意識できました。

＜　子供の感想　＞

・ボールを遠くまでとばす方法が分かって嬉しかった。（５年）

・早く来年の体力テストをやりたい。（４年）

・ステップが大切なのが分かった。（５年）





（別紙３）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（子供の体力向上）　実施報告書

学校名	藤枝市立瀬戸谷小学校
実施日	令和　７　年　12　月　５　日　（金）
実施集団	５　年　１　組　（10人）、　６　年　１　組　（５人） 【　合計：　15人　】
活動内容	ハードル指導

＜　先生の感想　＞

指導をする際に、ハードルの練習の場を提示してくださったことで、どのような練習が技能の上達に繋がるのかがよくわかりました。指導後の体育の授業の際には、こどもたち自身が、教わった練習の場をつくって練習に取り組もうとする姿が見られました。

＜　子供の感想　＞

今回のハードルの授業を通して、前よりもハードルが楽しいと思うようになりました。ハードルの跳び方だけではなく、ハードルを跳ぶ前に行う準備運動も教えてもらいました。授業にも取り入れて、上達に向けて頑張っています。



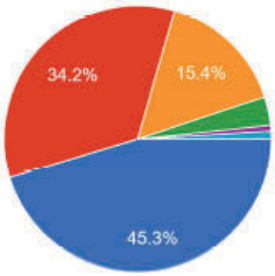


［子供の体力向上推進校（投能力向上等）における意識調査の結果］

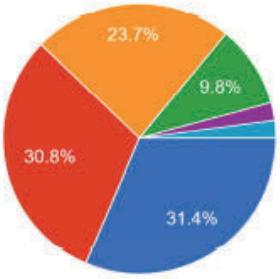
○実施前

指導者派遣事業について

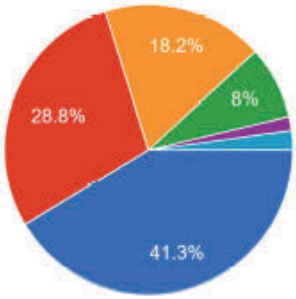
一生懸命やってみたいと思う



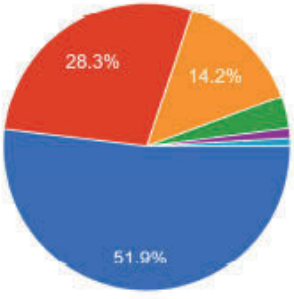
運動種目に興味がある



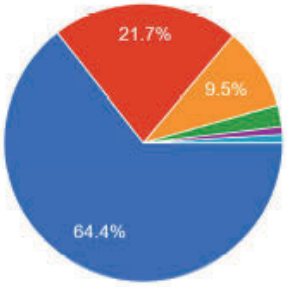
やるのが楽しみだ



全力で取り組みたい

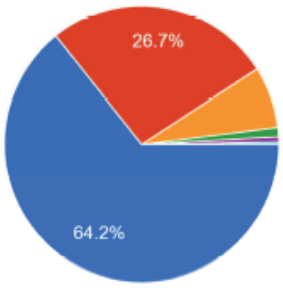


自分の体力を高めたい

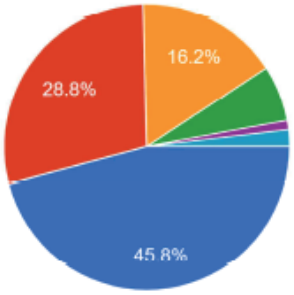


○実施後

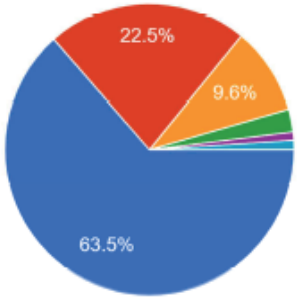
一生懸命やることができた



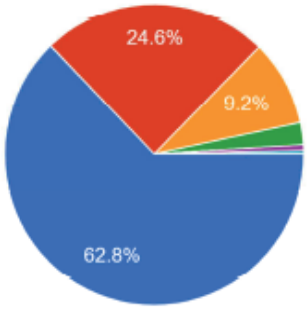
興味が高まった



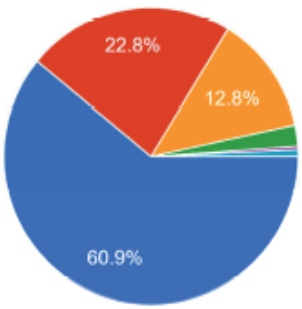
楽しく取り組めた

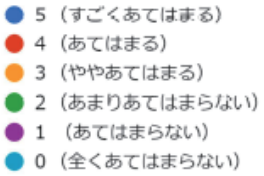


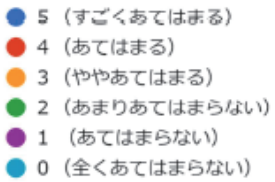
全力で取り組めた

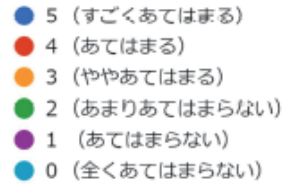


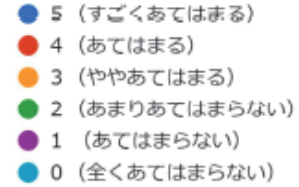
今後も自分の体力を高めていきたい

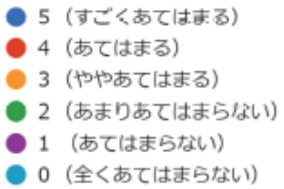












3　しずおかダンス動画の活用

（別紙２）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（ダンス）　実施報告書

学校名	焼津市立港小学校
実施日	令和　８　年　１　月　14　日　（　水　）
実施集団	６年 1,2,3 組　（89 人）、　５年 1,2 組　（59 人） ４年 1,2,3 組　（84 人）、　ふれあい 1,2,3 組　（６人） 【　合計：238 人　】
活動内容	・体ならしの運動　・ダンス動画の模範指導 ・しずおかダンスを通しで踊る

＜　先生の感想　＞

・講師の先生が楽しくテンポのよい指示を出したり、褒めたりしてくれていたので児童が楽しそうに踊ることができた。
・今後も準備運動等でしずおかダンスを活用していきたい。
・児童が体の可動域を意識しながら踊ることができた。
・学生の皆さんが児童に関わってくれたおかげで、児童が活発に取り組むことができた。

＜　子供の感想　＞

・普段ダンスを踊らないので、踊るのが恥ずかしいって思っていたけど、みんなとコミュニケーションしながら踊るのは意外と楽しかった。家とかでもダンス動画を見てやってみたいです。
・静岡ダンスは踊るだけじゃなくて、体を伸ばしたりできるから、体力をつけたり運動になるからいいと思った。
・初めて聞いたときは興味もなく、踊るのが恥ずかしかったし難しそうだからやりたくないなぁと思っていた。授業でやって楽しくて、しかも分かりやすく説明してくれたので、踊れるようになったし、楽しくなって恥ずかしさもなくなりました！今では私たちのクラスルームにその動画を投稿している友達もいます！次もぜひよろしくお願いします。





（別紙２）

令和７年度　学校体育実技指導協力者派遣事業（ダンス）　実施報告書

学校名	島田市立六合小学校
実施日	令和　８　年　１　月　21　日　（　水　）
実施集団	５　年　１　組　（　25　人）、　５　年　　２　組　（　26　人） ５　年　３　組　（　27　人）、　５　年　　４　組　（　25　人） 特別支援学級５年生（　７　人）　【　合計：　110　　人　】
活動内容	・準備運動、まねっこダンス ・しずおかダンス

＜　先生の感想　＞

子どもたちが前向きに取り組んでいた。しずおかダンスは、体を大きく動かす振り付けが多く、楽しみながら体力の向上につながる効果的な活動だと感じた。

＜　子供の感想　＞

・最初は難しかったけど、やっていくうちに失敗しても楽しいと思えてきて良かったです。先生や大学生が教えてくれて、すごく楽しかったです。
・最初は、ダンスが得意ではなくてそんなに好きではなかったけど、今回やってみて少し興味をもちました。また教えてもらえるチャンスがあれば、全力でやりたいです。



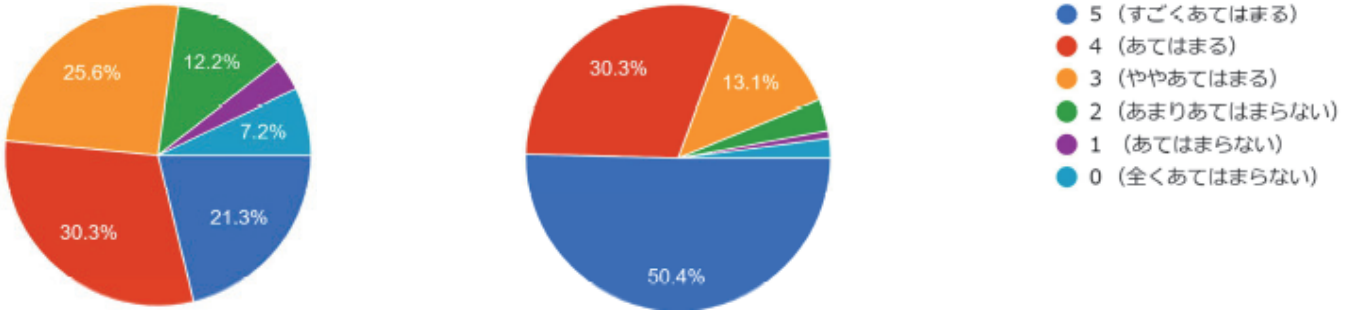


［子供の体力向上推進校（しずおかダンス動画）における意識調査の結果］

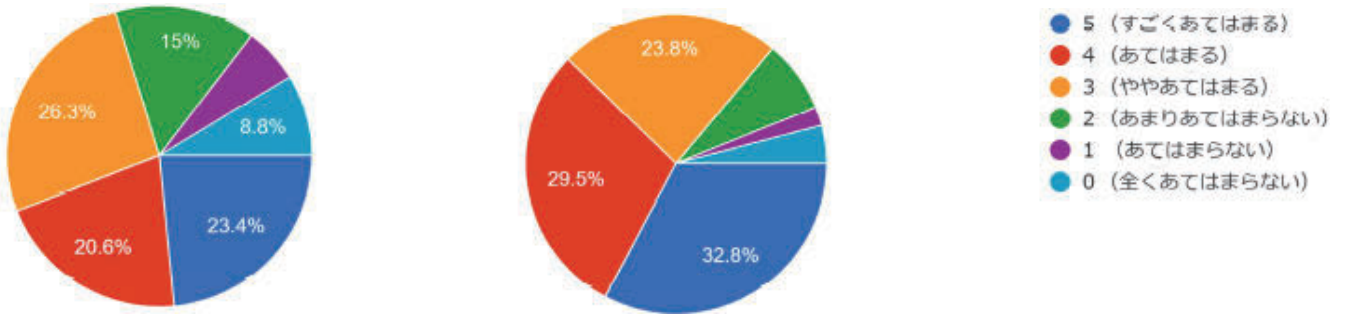
○実施前　　○実施後

指導者派遣（ダンスの授業）について

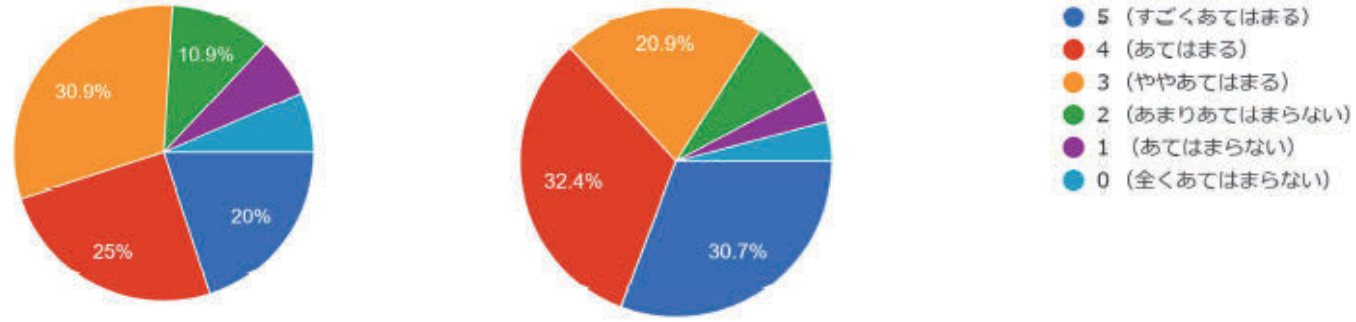
一生懸命やってみたいと思う　　やることができた



興味がある　　興味が高まった

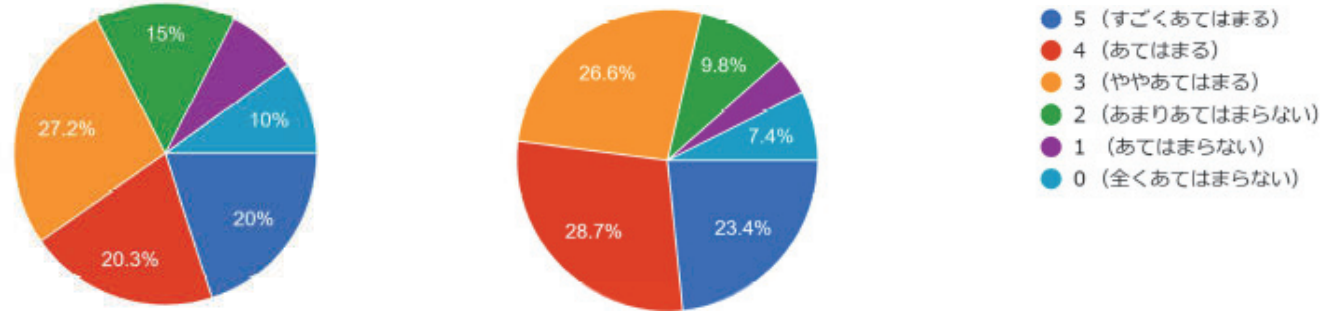


一生懸命やってみたいと思う　　一生懸命やることができた



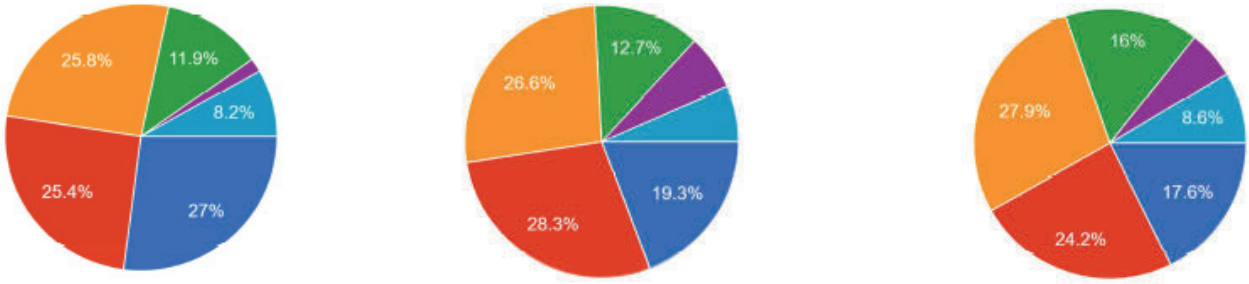
ダンス動画について

興味がある　　興味が高まった



ダンス　　ダンス動画　　

もっとやってみたい　　もっと活用してみたい　　学校以外でも活用してみたい



しずおかダンス動画
～子どもの体力向上ふじさんプログラム～

○概要

・柔軟性を高める動きを取り入れたダンス

・ダンスの授業で踊ってみたり、体育の準備運動として活用するなど、使い方はいろいろ

・静岡大学協力のもと、見たままを真似して踊る動画と、一つ一つの動きに解説を入れた動画を掲載

・しずおか元気っ子Ｌａｂ　～静岡県子供の体力向上ホームページ～　よりアクセスが可能

○アクセス方法







https://www.stte-shizuoka.jp/kodomo-tairyoku/group/09/

4　取組紹介表彰（体力アップコンテスト取組紹介部門）優秀賞の紹介

体力アップコンテストしずおか　　取組紹介部門

学校名・団体名　【　　三島市立西小学校　　全校　　】

＊学校情報　･･･　全校児童生徒数（３４１）人、全学級数（１２）クラス

名称	西の子体そう
実施対象 （学年・人数）	全校生徒　３４１人
実施した場面	100 周年記念式典、西の子まつり、来年以降の運動会　など
内容 【　例　】 目的 取組内容 特徴 活動の様子 等	（目的） 学校の創立 100 周年を記念して、50 周年の際に作成された西小賛歌「西の子」という曲に体操としての振りをつけ、準備体操として活用するとともに、踊りを通して気持ちを一つにし、これからも受け継いでいけるようにする。 （取組内容） ６年生の実行委員が「西の子」の歌詞をもとに体操のもとになる踊りの振りを作成しました。その後、体操の動きをダンサーの先生に監修してもらい「西の子体そう」が完成しました。そこから全校児童が覚えられるように、実行委員でお手本の動画を作成し、朝の時間や体育の時間を使って１～５年生に教えていきました。 「西の子体そう」は 100 周年の記念式典で全校児童でお披露目をし、その後のお祭りでも披露しました。また、来年度以降は運動会の準備体操としても活用していく予定です。 （活動の様子） 練習や指導    式典・お祭り   

体力アップコンテストしずおか　　取組紹介部門

学校名・団体名　【　　伊東市立池小学校　　】

＊学校情報　･･･　全校児童生徒数（　５８　）人、全学級数（　６　）クラス

名称	みんなで８の字大会
実施対象 （学年・人数）	１～６年　40 名程度
実施した場面	休み時間（中休み）
内容 【　例　】 目的 取組内容 特徴 活動の様子 等	目的 ・縦割りで一致団結して運動し、体力を向上させるため 取り組み内容 ・休み時間に集まり、１～６年混合チームで８の字跳びにチャレンジする。（集会形式） 特徴 ・保健体育委員会が企画し、運営する。 ・取り組む種目について、保健体育委員会の児童が「全校の児童で取り組めそうか、また、みんなで協力できそうか」という視点で決めた。 ・１～６年混合の縦割り班でのチーム編成 ・中休みの１５分間で実施。 活動の様子 ・それぞれの学年の発達段階に配慮し、縄の速さをコントロールしたり、励ましたりする様子が見られた。 ・この集会があることで、１・２年生も８の字跳びの興味をもち、集会に間に合うよう一生懸命練習した。

体力アップコンテストしずおか　　取組紹介部門

学校名・団体名　【　　伊東市立池小学校　　】

＊学校情報　･･･　全校児童生徒数（　５８　）人、全学級数（　６　）クラス

名称	学年対抗ハンデドッジボール大会
実施対象 （学年・人数）	１～６年　50 名程度
実施した場面	休み時間（中休み）
内容 【　例　】 目的 取組内容 特徴 活動の様子 等	目的 ・学年で協力しながら運動し、体力を向上させるため 取り組み内容 ・休み時間に集まり、学年対抗のハンデありドッジボール大会を行う。（集会形式） 特徴 ・保健体育委員会が企画し、運営する。 ・取り組む種目について、保健体育委員会の児童が「全校の児童で取り組めそうか、また、みんなで協力できそうか」という視点で決めた。 ・１年と６年が対決しても互いに本気でできるようハンデを用意した。 例：１・２年対６年・・・ハンデ３つ 　　３・４年対５年・・・ハンデ２つ 　　ハンデの内容・・・コート半分、利き手なし、ライフ２、移動片足 ・トーナメント方式 ・中休みの１５分間で実施。 ・予選と決勝で２日間開催 活動の様子 ・１２月９日（火）予選、12 月 16 日（火）決勝で実施する予定なので、提出時点ではありません。